

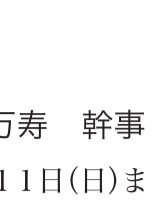
週報 第3164回

会長 植村 勢彦 副会長 原 正人
幹事 渡辺 万寿 SAA 西田 佳郎

例会場 ホテルレイカールスターアルが泉大津
TEL 0725-20-1121
例会日時 毎週金曜日 12:30~13:30

事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F
TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501

メールアドレス info@izumiotsu-rc.org
ホームページ http://izumiotsu-rc.org



今週の例会(2022年6月24日)

- プログラム
最終例会懇親会
- 次週のプログラム
7月1日:新年度会長挨拶
- 今後の予定
- 祝 誕生日
外山 正明(24日)
原 正人(26日)
高寺 壽(29日)
- 今月のロータリーソング
奉仕の理想

今月の歌
かたつむり
でんでん虫々 かたつむり
お前の頭は どこにある
角だせ 槍だせ 頭だせ

先週の例会

幹事報告 渡辺 万寿 幹事
小林美術館より、6月17日(金)から9月11日(日)まで開催している夏季特別展「技と心を極める一帝室技芸員の作家たち」のご案内のながきが届いております。ご興味のある方は事務局までお申し出下さい

委員会報告
24日(金)最終例会のご案内のFAXが届いていると思います。ご返信よろしくお願ひ致します(次年度親睦活動委員会)

ビジター

なし

出席報告 会員数44名 出席免除1名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
6/17	37名	7名	—	86.05%
6/5	27名	17名	7名	79.07%

IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3164回

■ メークアップ

榎本(6/14 ワールド大阪ロータリーEクラブ)
泉谷、白谷、鯉野、山本(正)
(6/3 新田理事役員会)
川上、西端(5/27 親睦活動委員会)

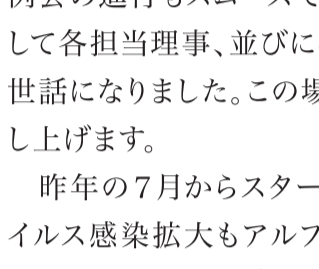
■ ニコニコ箱

・1年を振り返ってありがとうございます(植村)
・本日は3役様、宜しく御願ひ致します(渡辺)
・1年間ありがとうございます(西田)

・植村会長、渡辺幹事、西田SAAさん、1年間おつかれさまでした(藤野)
・欠席のおわび(高寺)
・欠席のおわび(寺田)
・例会欠席のおわび(小野寺)
・早退のお詫び(丹農)

ニコニコ箱合計	15,000円
累計	798,000円

先週のプログラム 「一年を振り返って」



植村 勢彦 会長

来週の最終例会が最後のお役目ですが、まず初めにこの1年間、例会を一度も休会することなく来られましたのも、会員皆様のご協力のお蔭と、心より感謝申し上げます。そして渡辺幹事・西田SAAには本当に世話になりました。特に渡辺幹事は早い段階での組織表や年間プログラム等も細部に渡り作成して頂きました。またメールのチェックに、理事会資料や議事録も、今後の資料としてもきめ細かく作成して頂き、【幹事の鑑】と言っても過言ではないと思います。また西田SAAのSAAマニユアルも、月曜日の朝にはメールして頂き、例会の流れが瞬時に分かり大変助かりました。また例会の進行もスムーズで、時間配分も最高でした。そして各担当理事、並びに各委員長の皆様にも大変お世話になりました。この場を借りて皆様に厚く御礼申し上げます。

昨年の7月からスタートしたものの、新型コロナウイルス感染拡大もアルファ株の変異株で、感染力の強いインド由来のデルタ株に移行しつつ猛威を振るいでした。ワクチン接種も1日100万回の号令で、進んではいるもの日々心配でした。特に若い世代の感染爆発が起こり、あっという間に緊急事態宣言

言・まん延防止等重点措置が発令されました。【うつらない・うつさない】を心掛けて、緊張感を持って例会を行いました。会報・IT委員会でハイブリット例会ができる様に、機器の購入からセッティングまで、またいつも早く来て体制を整えて頂きました。そんな中でも東京オリンピック開催されました。色々な話題が有りましたので、会長の時間の原稿は話題が豊富なので、あまりネタには苦勞する事はありませんでした。コロナ関連の話をする、雰囲気暗くなるので極力しない様になりました。9月に入りまたコロナもピークアウトしましたし、少し明るい兆しが見え始めてきました。コロナには勝てませんが、コロナに負けずに、各委員会が積極的に開催されました。元の活力があるロータリークラブが、取り戻せたように思いました。親睦活動委員会が年末に、クリスマス家族例会を開催して頂いた時には、これで来年も楽しいロータリーライフを、楽しめると喜んでいました。年が明けて小正月が開ける頃には、今度はオミクロン株の感染力が、とても強いと騒がれ始めました。そして2月に入ると、あれよあれよと一気に加速し、完全にオミクロン株に置き換わりました。大6波の突入で、感染スピードも今まで以上に早く、まん延防止等重点措置も発令されましたが、周りの人にも濃厚接触者や陽性者が出始め、これで良いのかなとか、例会を休会するべきかなあと色々考えましたが、これまでにも仲間から適切なアドバイスを受け、また勇氣

づけられた事で、続けて来られました、とても感謝しています。北京オリンピックが終わると直ぐに、ロシアのウクライナ侵攻が始まり、世界がロシアに対して制裁を始めました。RI会長のシェカール・メータ氏は【奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために】のテーマが、この戦争によって世の中の見方も変わって来ました。戦争で誰もが幸せに成ることは有りません。むしろ悲しみの方が多くです。日本も平和ボケとよく言われますが、今回の事で自国の防衛・外交・国益を真剣に考える議論も活発になって来ました。そして今年の泉大津ロータリークラブのスローガンとして、【challenge to change】(変化への挑戦)を掲げさせて頂きました。スタートからコロナ禍でも有りまして、窮屈な生活を強いられていました。こんな時だからこそ、ロータリークラブに何が出来るか模索し、変化を恐れずチャレンジしていきたいと思えました。そして【感動と刺激】を共有したいと言う思いも有り合いました。ロータリークラブは奉仕の機会として知り、業務を通じて、社会に奉仕する為に、品位をあらゆる事とあります。其の為の【例会は道場】です。

今年の担当理事は、10年未満の経験の浅い会員にお願いしました。一生懸命に委員会活動をして頂き、今迄に無い活気も見られたように思います。ロシアのウクライナ侵攻で、国際委員会がウクライナ大使館に直ぐ救援活動支援金を送金しました。またグローバル奨学生の岸田隆明君の、スイス・ローザンヌ大学への留学の手続きを、サポートして頂きました。また社会奉仕委員会が初めての事業ですが、子供支援奉仕活動を立ち上げて、泉大津市内の多くの子供が貧困・格差・ネグレスト問題を抱かれています。この未来ある子供たちや青少年に寄り添える支援を行いました。アクションを起こすことで、委員会の意識向上が図れます。また先日の家族例会に於いては、親睦活動委員会が何回も委員会を開き、柔軟な対応をして頂きました。中止するかホテルのディナーに変えるか、4月10日を6月5日に延期して、ゴールデンウィークのコロナ感染のリバウンドの数字の予想をしながら【運】に任せました。実施することが出来た時は、とても嬉しかったです。「悪運が強い!!」と思いましたが、当日も会員皆様の楽しそうな顔を見てると、とても幸せな気持ちになりました。ロータリーの【親睦

と奉仕】の二本柱は、とても大事だなあと実感しました。この1年間に様々な経験や体験をさせて頂きました。【感動と刺激】が共有出来た様に思います。今年は経験の浅い理事が多いので、出来る限り委員会活動には参加させて頂きました。会長は組織全体を掌握する立場にあります。「四つのテスト」を照らしながら、特に公平を意識して行動しました。本来ならば各部門には、理事・委員長が居りますので、理事・委員長が主体性を持って活動して頂くのですが、今年は取って参加しました。【温故知新】ではないですが、若い理事や会員と、あらゆる角度から意見交換をする事で、ロータリーの新しい価値を見出せたように思いました。またロータリーには、「自分の知らない所へ行く機会、そしてリーダーになる機会」があります。何よりも自分自身の成長が、出来た様に思います。会長の時間の原稿のタイトルを、振り返って見ていたら、季節柄やあんな事もこんな事も、世の中の良いことも悪い事も、色々な話題が有りました。本当に話題が豊富です。

この1年を振り返りますと山あり谷ありで、長いようで短かったです。アツという間でした。そしてこの1年、何事もなく来られましたのも、皆様方の温かいご支援と、ご協力の賜物と心より厚く御礼申し上げます。

最後になりますが、急に熱くなりましたので、くれぐれも熱中症には気を付けて下さい。本当に有難う御座いました。

IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3164回

2.昨年7月より植村年度が順調に滑り出し、半年ばかり経った在る寒い例会後、3役でこれからのロータリー活動の発展の為に、「植村年度ここにあり」というインパクトを何か残したいと考え、ふと例会場を見渡してみると正面に日章旗とロータリー旗が並んでおり、よく見るとシンボルのロータリー旗が、年月を重ね、かなりくすんでお年を召しておりますので、この機会に歯車の紺色から「ゴルト」色にフォント(字体)も納めを見据えたものに替えようという事になり、未明期を通じて6か月以上掛かる処、瀧谷 達理事のご尽力により3月の例会より掲揚する事が出来ました。(ちなみに歯車のゴールド色はRIでは2013年に変更しております。)しかし、旗を替えたにも拘らず、会員皆さんからは驚きや何の反応もなく、普段通りでしたので少しがっかりしました。以前のロータリー旗は、いつ頃掲揚したのか事務局でも解らなかったので今回、新作のゴールドフラッグの、皆様から向かって右下裏面に「贈 IRC2021~2022 第66代会長N. Uemura 2022年3月吉日」と、誰もがはつきりとわかるようにプリントされております。これからは、会場でロータリー旗を眺めるたびに、「植村年度、明るく・元気がでたのしかったな」と、懐い出して頂いたら我々3役冥利に尽きます。

これが、幹事としての僕の一番の自慢です。3.次にもう一つ、出来るだけ固有有名詞を出さないように致しますが、うっかり調子に乗って出た場合は、ご勘弁してください。生中1役で堪忍してください。当時、2年前の2020年7月より、白谷年度も順調に滑り出し、秋も深まって来た頃、植村1役から、組織について「理事さん各奉仕委員長さんには、予め内諾頂いているので他の委員さん決めよか」になり、そこで、僕はSAA予定の西田君も何かしらの委員に推薦すると「彼は、SAAだけに集中して貰いたい。」と、なかなか大事な扱いというか?磨けば光るダイヤモンドと云うに受け取れ、泉大津RCの未来を見据えての人事で大事にされているなあ〜と感じました。そこで、ふと思いだしたのが、僕もSAAしました。あれは、60周年の時でした。当時の某会長、某幹事よりSAAを命ぜられ尚且つクラブ会報委員長(今のIT委員長で週報作る役です)する人居らんから渡辺さんついでにやってもいいかと、会長に簡単に申し渡され、そのほか当時森口、口氣、某上田幹事にこき使われ、こき使われまして、役が終われば僕は使い捨てのカイロの様にゴミ袋

にポイ捨てでした。未来ある西田君が羨ましいです。

しかし、嬉しい事も有り、唯一度でしたが、わたくしが行った事も無いような高級なお洒落なレストラン(実は普通の焼肉店ですけど)に連れて行って頂き、そこで分厚く、血のひたたる様なハラミのお肉をご馳走にあずかりました。大変美味しかったです。

たった一度だけでしたが...有難うございました。それから、ロータリアンとして、年に何度かは、ゴルフにご一緒させて頂いております。処で、上田会長ノミニニ来月から会長エレクトに、来年の来月には、会長です、一度ごみ箱に捨てられた僕を拾わないで下さいね!

4.最後になりますが、クラブ中の迷える子羊の僕は幹事になる1年前より、この組織の群れの中でどう慣れ親しんで行くか悩まされた、そこで1冊の本に巡り合わせ、(わがロータリーへの道、ポール・ハリス著)をなんとなく読ませて頂くと、何か成るやろうと思えました。

以上です。ご質問が無いようですので僕の過去を振り返ってをご清聴有難うございました。

これが、幹事としての僕の一番の自慢です。3.次にもう一つ、出来るだけ固有有名詞を出さないように致しますが、うっかり調子に乗って出た場合は、ご勘弁してください。生中1役で堪忍してください。当時、2年前の2020年7月より、白谷年度も順調に滑り出し、秋も深まって来た頃、植村1役から、組織について「理事さん各奉仕委員長さんには、予め内諾頂いているので他の委員さん決めよか」になり、そこで、僕はSAA予定の西田君も何かしらの委員に推薦すると「彼は、SAAだけに集中して貰いたい。」と、なかなか大事な扱いというか?磨けば光るダイヤモンドと云うに受け取れ、泉大津RCの未来を見据えての人事で大事にされているなあ〜と感じました。そこで、ふと思いだしたのが、僕もSAAしました。あれは、60周年の時でした。当時の某会長、某幹事よりSAAを命ぜられ尚且つクラブ会報委員長(今のIT委員長で週報作る役です)する人居らんから渡辺さんついでにやってもいいかと、会長に簡単に申し渡され、そのほか当時森口、口氣、某上田幹事にこき使われ、こき使われまして、役が終われば僕は使い捨てのカイロの様にゴミ袋

にポイ捨てでした。未来ある西田君が羨ましいです。

しかし、嬉しい事も有り、唯一度でしたが、わたくしが行った事も無いような高級なお洒落なレストラン(実は普通の焼肉店ですけど)に連れて行って頂き、そこで分厚く、血のひたたる様なハラミのお肉をご馳走にあずかりました。大変美味しかったです。

たった一度だけでしたが...有難うございました。それから、ロータリアンとして、年に何度かは、ゴルフにご一緒させて頂いております。処で、上田会長ノミニニ来月から会長エレクトに、来年の来月には、会長です、一度ごみ箱に捨てられた僕を拾わないで下さいね!

4.最後になりますが、クラブ中の迷える子羊の僕は幹事になる1年前より、この組織の群れの中でどう慣れ親しんで行くか悩まされた、そこで1冊の本に巡り合わせ、(わがロータリーへの道、ポール・ハリス著)をなんとなく読ませて頂くと、何か成るやろうと思えました。

以上です。ご質問が無いようですので僕の過去を振り返ってをご清聴有難うございました。

IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3164回

まず最初に例会のはじまりですが、会員の皆様が出来ないことには、はじまりません。そんなとき、いつも川上先輩が最後の人の入場を見届けてくださり、私に合図をして背中を押してくれました。本当にありがとうございます。

私のSAAの課題の一つに、岸良先生のピアノ演奏と例会進行とのタイミングがありました。岸良先生のリズムのいい音楽を聴いていたのですが、ときにボリュームの多い日もございます。演奏を最後までお聴きしたいという気持ちと、例会進行をきっちりすすめていければとのジレンマの中、そんなとき、例会終了後に岸良先生のところへフォローしていきますと、逆に、いつもあたたかく応援してくださりました。ご迷惑をおかけしましたことと、心より感謝を申し上げます。

会長の時間におきましては、「刺激と感動」をもとに、毎回豊富なネタを素晴らしい濃度としてお話されている姿を見て、とても感銘を受けました。

毎月開催される理事役員会にもSAAとして出席させて頂きました。理事役員会では、会長、幹事ははじめ、各理事の皆様との協議や報告を学ばせて頂きました。内容や流れを聞くだけで精一杯だったように思います。

また、卓話の時間におきましてはなかなかお会いできないご来賓の方や、名立たる諸先輩方のお話をお聞きすることができて非常にありがたく思っております。

そんな中、卓話での私のSAAの課題としましては、上田ノミニニの卓話のときに、ノミニニが難しい定義・細則の話も、とても楽しそうに熱弁されておりました。

時間がたち、時計をあらためてみると、終了時刻に近づいておりました。その時、横にいた会長、幹事が同時に私の顔を見て「本人の前まで行って止めてきたほうがいいよ」と。

私一人では難しく、本当にいろいろ勉強させて頂きました。

そもそもSAAとは、サージェント・ア・アームスという、例会が気品と風紀を守れる会場になるよう監督する者であります。

そして、お恥ずかしながら最近知ったのですが、一方で例会の円滑な運営と愉快で明るい雰

囲気づくりの上では、柔軟性を併せ持たなければならぬという記載に気づきました。

SAAもロータリーライフを楽しむのもっと早くこのことに気づいていればと反省しております。

次年度には櫻井さんがSAAということで、資料を含め引継ぎをさせて頂いていただきます。泉大津ロータリークラブが明るく、気品と風紀のあるクラブになると私は確信いたしております。

最後になりましたが、会長、幹事に細やかなお気遣いをいただき、感謝の気持ちでいっぱいでございます。

また、皆様にもいつもあたたかく見守ってくださり、本当にありがとうございます。来週に最終例会が残っておりますので、最後まで頑張りたいと思います。

IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3164回

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基盤として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。

具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を實踐すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

= 言動はこれに照らしてから =

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか